

車上作動契約業者の皆さまへ

エアバッグ類一括展開 国際標準規格 (ISO 規格)

対応車両導入のお知らせ

いつもエアバッグ類の適正処理にご協力いただきありがとうございます。

さて、2004 年より、日本、ヨーロッパ、韓国を中心に車載故障診断 (OBD) の通信機能を活用したエアバッグ類一括展開機能を有する車両および展開ツールの国際標準規格(ISO 規格)の検討が行われ、2012 年 6 月に ISO 規格が制定されました。

これにより、国際標準規格に対応した車両 (ISO 規格対応車) の本格的な導入が見込まれます。

(2013 年 6 月より、国産車一部モデルへの採用が行われております。)

また、国際標準規格に対応した一括展開ツール (ISO 規格一括展開ツール) については、現在開発を行っており、2014 年春頃に販売予定です。

具体的な対応車両の判別方法、作業手順、一括展開ツール購入方法等については、改めてご案内いたします。

◆対応(予定)社名、ブランド名

国内メーカー：いすゞ自動車、スズキ、ダイハツ工業、トヨタ自動車、日産自動車、日野自動車
富士重工業、本田技研工業、マツダ、三菱自動車工業、三菱ふそうトラック・バス
UD トラックス

輸入メーカー：アウディ、ベントレー、BMW、BMW アルピナ、クライスラー、キャデラック、シボレー、メルセデス・ベンツ、プジョー、シトロエン、ボルシェ、ルノー、ロールス・ロイス、テスラモーターズ、フォルクスワーゲン、ボルボ
(一部車種のみ対応するブランドを含む)

◆特長

①一括展開ツール対応車両の拡大

- 一つのツールで ISO 規格に対応した国産車と輸入車(一部を除く)のエアバッグ類の一括展開処理が可能となります。 (現行展開一括ツールとの互換性はありません)

②作業性の向上

- ISO 規格一括展開は、OBD コネクタを使用することから、コネクタ位置が基本的に運転席ダッシュボード内側に設置されるため、コネクタを探す負担が少なく、接続作業が容易となります。

